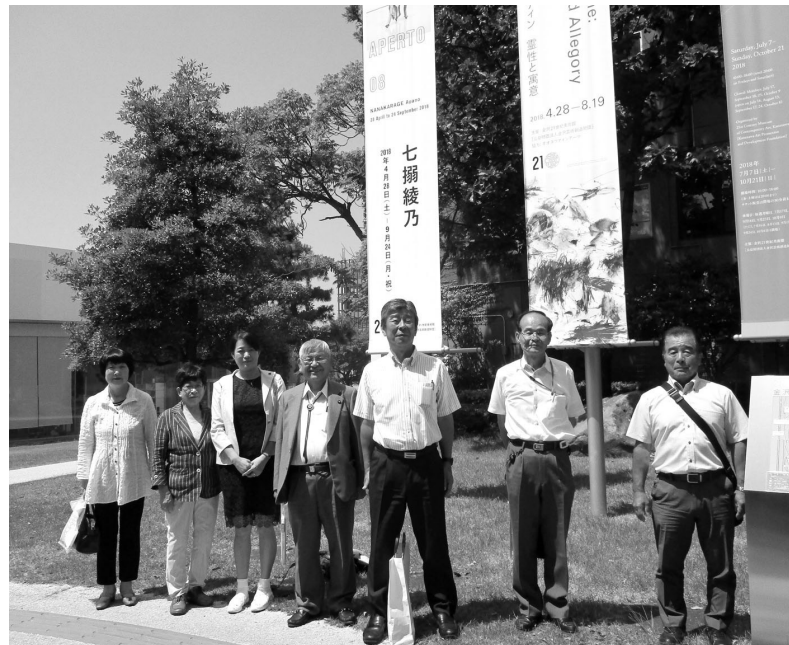


# びいぶる

## 常任委員会 行政視察レポート

7月17日～7月18日に福祉文教委員会が、また、8月7日～9日に総務建設委員会が、下記のとおり行政視察を行いました。それぞれ特色ある取り組みで、議員として非常に勉強になり、見識を深めるものとなりました。写真は、その際の様子です。



福祉文教委員会 (石川県金沢市)



総務建設委員会 (神奈川県逗子市)

委員会	行き先	目的(テーマ)
福祉文教委員会	富山県富山市	官民連携による健康なまちづくりの取り組みについて
	石川県輪島市	多世代多文化型共生型まちづくりの取り組みについて
	石川県金沢市	高齢者福祉について
総務建設委員会	神奈川県逗子市	ごみ袋の有料化について
	群馬県桐生市	防犯・ごみ減量対策について

### ●目次

- P2～7 …… 議案等の件名、主な内容、賛成反対意見や各議員の態度
- P7～11 …… 市政のここが聞きたい(一般質問)
- P12 …… 12月定例会を傍聴してみませんか
  - 議会に行かなくても本会議が見られます

# 議案等の件名・主要内容 及び 賛成反対意見

同=同意 議=議案 認=認定 陳=陳情 意=意見案		議案等の主要内容
種類番号	件名	
<b>7月臨時会 議案等</b>		
議第56号	平成30年度高浜市一般会計補正予算(第3回)	●歳入歳出予算の総額にそれぞれ4,970万円を追加し、歳入歳出予算額をそれぞれ167億3,718万円とする。●債務負担行為として、勤労青少年ホーム跡地発生土等運搬処理業務委託料8,234万5,000円を追加。◎歳入 ○増額:基金繰入金4,970万円 ◎歳出 ○増額:ブロック塀改修工事3カ所375万5,000円、勤労青少年ホーム跡地発生土等運搬処理業務委託料4,603万5,000円。
<b>9月定例会 議案等</b>		
同第6号	教育委員会委員の任命について	現委員、岩月宏枝氏の任期満了に伴い、その後任として加藤洋子氏を任命するため。(任期4年)
議第57号	高浜市情報公開条例の一部改正について	高浜市情報公開審査会への諮問を要しない場合として、裁決で審査請求の全部を認容し、当該審査請求に係る公文書の全部を公開する場合を定めるほか、公文書の公開の請求のあった日及び公文書の公開決定等に係る期限の末日が市の休日であった場合の取り扱いを明確化する等、所要の規定の整備を行う。
議第58号	高浜市産業立地の促進に関する条例の一部改正について	本市区域内で工場等の新增設を行う事業者に、奨励措置を講ずる本制度の奨励措置の対象となる工場等の敷地面積に関する基準を緩和する。
議第59号	市道路線の認定について	開発行為等で設置された道路の市への帰属に伴い、3路線を市道路線認定する。(神明9号、田戸7号、論地26号)
議第60号	平成29年度高浜市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	平成29年度高浜市水道事業会計未処分利益剰余金2億6,656万4,900円のうち、5,941万6,915円を減債積立金、7,000万円を建設改良積立金に積み立て、1億3,714万7,985円を資本金へ組み入れる。
議第61号	高浜市介護予防拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	高浜小学校等整備事業の実施に伴い、高浜市ものづくり工房「あかおにどん」及び高浜市IT工房「くりっく」を高浜市地域交流施設に移転し、IT工場の料金の見直しを行う。
議第62号	高浜市地域交流施設の設置及び管理に関する条例の制定について	市民の連帯感の高揚を図り、学び、文化、生きがいづくり、子育て・子育てを支える環境創出を目指し、高浜市地域交流施設を設置する。(施設構成:集会室、和室、IT工房室、ものづくり工房室。行う事業:地域住民相互によるコミュニケーション・学術、文化活動その他の生涯学習推進・子どもの健全育成・介護予防及び生きがいづくり・規則で定める公民館事業他・その他:利用手続、使用料、利用者義務を定める。)
議第63号	高浜市大山会館の設置及び管理に関する条例の制定について	高浜小学校等整備事業の実施に伴い、大山公民館の公民館機能を高浜市地域交流施設に移転し、同公民館を大山会館として、当分の間、存置する。
議第64号	高浜市使用料及び手数料条例の一部改正について	高浜芳川緑地多目的広場の多目的広場2の使用料及び高浜小学校図工室の目的外使用料を定める。
議第65号	高浜市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	左記基準の一部改正に伴い、家庭的保育事業者等による代替保育に係る連携施設の確保義務を緩和する等、所要の規定の整備を行う。
議第66号	平成30年度高浜市一般会計補正予算(第4回)	●歳入歳出予算の総額にそれぞれ5億2,598万2,000円を追加し、歳入歳出予算額をそれぞれ172億6,316万2,000円とする。●債務負担行為として小学校施設改修事業の増と臨時財政対策債を追加。◎歳入 ○増額:前年度繰越金3億2,413万7,000円、普通地方交付税8,278万9,000円、小学校債ほか3億6,700万円等 ○減額:財政調整基金繰入金△2億7,740万円等 ◎歳出 ○増額:財政調整基金積立金2億9,019万2,000円、地域医療振興事業補助金2億1,467万円、小学校各種工事費7,047万円等 ○減額:国民健康保険ほか繰入金△1億285万円。

# や各議員の態度

	会派名	市政クラブ							公明党	共産党	市民クラブ	高志クラブ	青政会		
	議員氏名	杉浦康憲	神谷利盛	柳沢英希	浅岡保夫	杉浦辰夫	神谷直子	北川広人	鈴木勝彦	小嶋克文	小野田由紀子	内藤とし子	黒川美克	幸前信雄	柴田耕一
<b>賛成及び反対意見等</b>															
	結果	○=賛成 ●=反対													
<b>反対</b> 勤労青少年ホーム跡地のゴミは、計画段階でわかっていなければならず、追加は納得できない。合わせて複合化であるなら財政削減が目的で、市役所、中央公民館と追加発生が続いているが、これでは増加である。 <b>賛成</b> 施設総面積圧縮、維持管理費削減、未利用資産の有効活用など長期財政展望に立って進められており、市民メリットもある。公共施設のあり方を総合的に判断して進めるべき。	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	●	●	○	●
	結果	○=賛成・採択・同意 ●=反対・不採択 △=趣旨採択													
案件のとおり。	同意	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
<b>問</b> 改正議決がされてから高浜市情報公開審査会に報告するのか、審査会で議論があって後に議案として上ってきたのか。 <b>答</b> 今回の改正部分について、審査会委員にあらかじめ説明している。	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
<b>問</b> 企業誘致を念頭に敷地面積が5万㎡から5,000㎡と減少に至った理由等。 <b>答</b> 要件が、5万㎡では新設の工場立地支援が難しい。 <b>問</b> 近隣市の企業誘致の優遇策は。 <b>答</b> さまざまな優遇策が展開されている。当市では、県と工業用地創出や企業の再投資支援も展開していく。他、要件や申請件数について質疑された。	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
質疑なし。	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
<b>問</b> 未処分利益は市民に還元できないか。 <b>答</b> 儲けという概念ではなく、使い道は減債、起債の償還、今後の建設費の積み立てで、更新事業も必要であるため、この利益を水道料金に還元する考えは持ち合わせていない。	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
<b>問</b> 家庭的保育は今後どうなるか。 <b>答</b> 家庭的保育あいあい、現在の場所を継続して使うと聞いている。 <b>問</b> 小学校でプログラム教育が導入されるが、平日にIT工房くりっくでプログラム教育を行う計画は。 <b>答</b> IT工房くりっくから、学校とコラボレーションのお話をいただいている。学校からも力を借りたいという声があり、双方で協議し、方向を探っていきたい。他、現在の跡地、移転後の利用について質疑された。	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	●	○	○	○
<b>問</b> 工事の安全確保策は。 <b>答</b> 柵を設けてエリアを区分け、仮出入口設置を行う。 <b>問</b> 地域交流施設の不審者対策は。 <b>答</b> エントランスホールを管理室で監視するとともに、市民利用諸室には監視カメラを設置。また、小学校稼働時は、複合施設との間の扉を施錠、シャッターで閉鎖する。他、利用料金や公民館機能の移転の考え方について質疑された。	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	●	○	○	○
<b>問</b> 大山会館として管理する当分の間はいつまでか。 <b>答</b> 地域で方向性が出る1・2年程度と考えている。 <b>問</b> ほかの公民館も同じような計画になるのか。 <b>答</b> 目標として、市の管理はゼロでいきたい。他、防災施設としてについて質疑された。	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	●	○	○	○
<b>問</b> 高浜芳川緑地の使用について。 <b>答</b> スポーツ利用が中心で、貸切利用は使用料が発生。占有使用でなければ誰でも利用可。 <b>問</b> 地域交流施設の図工室利用について。 <b>答</b> あかおにどんとの一併利用等を考えている。他、今後の利用方法について質疑された。	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
<b>問</b> 条文内容について。 <b>答</b> 協力体制の整うところは連携施設の設定が緩和できる。給食の外部搬入は、現在、市内に該当施設なし。	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	●	○	○	○
<b>問</b> 子ども・子育て会議運営事業は。 <b>答</b> 子ども・子育て支援事業計画策定のもので、会議の構成メンバーに変わりなく、待機児童ゼロを目指す。 <b>問</b> 会計年度任用職員制度は。 <b>答</b> 32年4月導入のための準備。 <b>問</b> 豊田町造成関連工事費は。 <b>答</b> 大阪北部地震を受け、排水路の工法を変更。 <b>問</b> 公園整備管理事業修繕料は。 <b>答</b> 電気施設やトイレ詰り、遊具の修繕等。 <b>問</b> 小学校庁用器具費は。 <b>答</b> 寄附金での楽器購入。 <b>問</b> 中学校維持管理事業修繕料は。 <b>答</b> 貯水槽の修理。 <b>問</b> 地域交流施設運営準備業務委託料は。 <b>答</b> 来年4月からの利用受けに係る準備委託。 <b>問</b> 地域医療振興事業での移転新築費の補助金は。 <b>答</b> 刈谷豊田総合病院高浜分院の建設に係る豊田会からの資金計画の前倒し。他、質疑多数。	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	●	○	○	○

種類番号	件名	議案等の主な内容
議第67号	平成30年度高浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1回)	●歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億2,800万7,000円を追加し、歳入歳出予算額をそれぞれ37億2,936万1,000円とする。◎歳入○増額:前年度繰越金2億3,800万7,000円○減額:その他一般会計繰入金△1,000万円 ◎歳出○増額:国民健康保険支払準備基金積立金2億2,800万7,000円
議第68号	平成30年度高浜市土地取得費特別会計補正予算(第1回)	●歳入歳出予算の総額にそれぞれ4,456万2,000円を追加し、歳入歳出予算額をそれぞれ1億1,238万4,000円とする。◎歳入 ○増額:前年度繰越金:4,456万2,000円 ◎歳出 ○増額:予備費4,456万2,000円
議第69号	平成30年度高浜市公共下水道事業特別会計補正予算(第1回)	●歳入歳出予算の総額から、それぞれ278万5,000円を減らし、歳入歳出予算額をそれぞれ17億2,685万7,000円とする。◎歳入 ○増額:前年度繰越金5,663万9,000円 ○減額:その他一般会計繰入金△5,942万4,000円 ◎歳出 ○減額:償還金、利子及び割引料278万5,000円
議第70号	平成30年度高浜市公共駐車場事業特別会計補正予算(第1回)	●歳入歳出予算の総額にそれぞれ5,336万4,000円を追加し、歳入歳出予算額をそれぞれ8,737万4,000円とする。◎歳入 ○増額:前年度繰越金5,336万4,000円◎歳出 ○増額:予備費5,336万4,000円
議第71号	平成30年度高浜市介護保険特別会計補正予算(第1回)	●保険事業勘定 歳入歳出予算の総額にそれぞれ7,113万円を追加し、歳入歳出予算額をそれぞれ26億4,698万5,000円とする。◎歳入 ○増額:前年度繰越金1億172万2,000円 ○減額:介護給付費等交付金△156万6,000円、各一般会計繰入金等△2,902万9,000円 ◎歳出 ○増額:介護給付費準備基金積立金4,315万7,000円、介護給付費等過年度分返還金2,691万3,000円等 ○減額:介護認定調査会費16万9,000円 ●介護サービス事業勘定 歳入に前年度繰越金698万9,000円を追加し、一般会計繰入金から同額を減額する。
議第72号	平成30年度高浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)	●歳入歳出予算の総額にそれぞれ136万3,000円を追加し、歳入歳出予算額をそれぞれ5億834万8,000円とする。◎歳入 ○増額:前年度繰越金265万円 ○減額:一般会計繰入金△128万7,000円 ◎歳出 ○増額:後期高齢者医療広域連合納付金136万3,000円
議第73号	平成30年度高浜市水道事業会計補正予算(第1回)	●収益的支出 予定額に配水及び給水費として47万円を追加し、補正後の予定額を8億5,069万5,000円とする。●議会の議決を経なければ流用できない経費に職員給与費47万円を追加し、補正後の予定額を6,592万8,000円とする。
認第1号	平成29年度高浜市一般会計歳入歳出決算認定について	歳入予算現額144億1,114万円に対し決算額146億9,052万7,940円、歳出予算現額144億1,114万円に対し決算額140億6,178万9,168円。
認第2号	平成29年度高浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入予算現額39億3,469万7,000円に対し決算額40億8,393万9,343円、歳出予算現額39億3,469万7,000円に対し決算額38億2,093万2,085円。
認第3号	平成29年度高浜市土地取得費特別会計歳入歳出決算認定について	歳入予算現額4,499万6,000円に対し決算額4,532万9,073円、歳出予算現額4,499万6,000円に対し決算額76万5,472円。
認第4号	平成29年度高浜市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入予算現額14億2,894万3,000円に対し決算額14億3,768万1,349円、歳出予算現額14億2,894万3,000円に対し決算額13億8,103万1,907円。
認第5号	平成29年度高浜市公共駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	歳入予算現額7,031万1,000円に対し決算額7,581万4,167円、歳出予算現額7,031万1,000円に対し決算額2,244万8,290円。
認第6号	平成29年度高浜市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	●保険事業勘定 歳入予算現額26億2,149万2,000円に対し決算額25億8,621万9,465円、歳出予算現額26億2,149万2,000円に対し決算額24億8,449万6,437円。●介護サービス事業勘定 歳入予算現額5,467万9,000円に対し決算額5,578万3,265円、歳出予算現額5,467万9,000円に対し決算額4,879万3,082円。
認第7号	平成29年度高浜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	歳入予算現額4億9,330万2,000円に対し決算額4億9,058万84円、歳出予算現額4億9,330万2,000円に対し決算額4億8,292万9,671円。
認第8号	平成29年度高浜市水道事業会計決算認定について	●収益的収入支出 歳入予算現額8億5,795万6,000円に対し決算額8億9,348万5,231円、歳出予算現額7億8,885万7,000円に対し決算額7億5,352万1,136円。●資本的収入支出 歳入予算現額1億2,095万9,000円に対し決算額1億1,088万5,770円、歳出予算現額4億5,129万7,000円に対し決算額3億6,335万30円。
報第8号	平成29年度健全化判断比率及び公営企業資金不足比率について	●健全化判断比率 実質赤字比率、連結実質赤字比率共に赤字比率なし。実質公債費比率△0.4%。将来負担比率なし。●公営企業資金不足比率 公共下水道事業特別会計及び水道事業会計共に資金不足比率なし。
陳第8号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情	国に、①少人数学級のさらなる拡充を含めた教員の定数改善計画の策定・実施。②義務教育費国庫負担制度の堅持と共に国庫負担率2分の1への復元。以上2点の意見書の提出を求める。
陳第9号	小中学校の全教室にエアコンの設置を求める陳情	高浜市の将来を担う子どもたちが快適な環境の中で学習に取り組めるよう、小中学校の全教室にエアコンの設置を求める。

賛成及び反対意見等	結果	○=賛成・採択・同意 ●=反対・不採択 △=趣旨採択													
質疑なし。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
質疑なし。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
質疑なし。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>問</b> 三河高浜駅公共駐車場土地の、名鉄との譲渡協議は。 <b>答</b> あと5年賃貸借契約が残っている。更地にして返す、または契約延長の選択肢があり、市として必要と考えているが、名鉄は売買する気がなさそうなので、当面は賃貸借と考えている。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
質疑なし。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
質疑なし。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
質疑なし。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
収入について、税収からふるさと応援寄付金、たばこ税まで、歳出については、ICT関連、防災、保育所運営委託、明治用水中井筋、屋根瓦奨励補助金、空家実態調査業務委託等、多岐にわたって質疑された。	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
<b>問</b> 短期保険証について、保険税の支払いが厳しいのでは。 <b>答</b> 税負担の公平性から法定化されている。税の相談に応じて適切な税の確保に努めていく。他、加入者減について質疑された。	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
質疑なし。	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>問</b> 受益者負担金は。 <b>答</b> 時期や距離でなく、面積で決定される。整備は国の補助金や起債で推進し、償還期間はこれで左右される。整備にはまだ25年ほどかかると考える。	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
<b>問</b> 公共駐車場が満車にならないか。 <b>答</b> 手当等の支給があるときは、一時的に満車になることがある。公用車を移動したりするなど、指定管理者と連絡を取り合っている。他、利用状況などについて質疑された。	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>問</b> おたがいジャンネットの活動は。 <b>答</b> 吉浜まち協会で日中の独居高齢者見守り、軽作業、話し相手など。他のまち協にも定着、波及させていきたい。他、滞納や収入等について質疑された。	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
<b>問</b> 滞納はあるか。 <b>答</b> 収納率はここ数年99%台で推移している。保険料には減免制度があり、該当者は減免や軽減措置で対応している。	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
<b>問</b> 水道料金が管の直径のミリ数で決められているが、どのように決めているか。 <b>答</b> 各事業体(自治体)ごとに、給水人口や施設規模で設定しているので御理解いただきたい。	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
報告事項。	報告事項														
<b>賛成</b> 一人ひとりの子ども達と向き合う時間を十分に確保し、きめ細かな指導をするために必要。全国どこに住んでいても機会均等に一定水準の教育を受けられることは重要、など。	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>趣旨採択</b> 公共施設総合管理計画との連動、長期財政計画で将来を見据えながら行なうことが重要。 <b>賛成</b> 今後の市政の担い手である子どもたちの命と健康を守るために必要、など。	趣旨採択	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	△	△	△

種類番号	件名	議案等の主な内容
陳第10号	国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情	国に、①父母負担の公私格差を是正するための就学支援金を拡充。②国庫補助金とそれに伴う地方交付税交付金を充実し、私立高校以下の経常費補助を拡充。以上2点の意見書の提出を求める。
陳第11号	愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情	県に、教育の公平の実現と私学選択の自由を確保するため、授業料助成と入学金助成の拡充、経常費助成でも学費と教育条件の公私格差を是正できる施策実施を求める意見書の提出を求める。
陳第12号	私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情	平成31年度予算で、私立高校生に対する現行の市町村独自の授業料助成の拡充を求める。
陳第13号	平成31年度税制改正における自動車関係諸税の抜本見直しを求める陳情	国に、複雑で過重な事実上の二重課税及び課税根拠を失った自動車関係諸税の抜本の見直しを求める意見書の提出を求める。主な内容は、車体課税及び燃料課税を抜本的に見直し、簡素化・負担の軽減をする。また、地方への代替財源の確保を前提とした自動車関連諸税の見直し措置を求める。
意第1号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	陳情第8号の採択に伴い意見書を国に提出するため。
意第2号	自動車関係諸税の抜本改革についての意見書	陳情第13号の採択に伴い意見書を国に提出するため。

※鈴木勝彦議員は議長職のため、表決権はありません。



## 議会の 結果などについて

# 市政の ここが聞きたい!!

## 一般質問

一般質問は、定例会で議員が議案に関係なく、市政全般について市の方針をたずめるものです。

なお、掲載文は、議員本人作成(文責)の原稿です。

賛成及び反対意見等	結果	○=賛成・採択・同意 ●=反対・不採択 △=趣旨採択													
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
<b>趣旨採択</b> 平成22年度から就学支援金が支給されている。また、必要な措置が取られており、国の財政が厳しい中、さらなる拡充には限界がある。 <b>賛成</b> 各国のGDPに占める公的支出が少なく、家庭の負担が重い。学費の公私格差是正、就学支援制度拡充は喫緊の課題である。	趣旨採択	△	△	△	△	△	△	△	-	○	○	○	○	△	△
<b>趣旨採択</b> 私立高校授業料補助が実施されており、県立高校も2校受検が可能。私立高校選択の代償は費用であり、県の財政も厳しい。 <b>賛成</b> 高校選択の自由をいうならば、学費の公私格差解消が必要。教育の公平と私学無償化は切実な課題である。	趣旨採択	△	△	△	△	△	△	△	-	○	○	○	○	△	△
<b>反対</b> 高浜市では、近隣と比べても手厚い授業料助成がされている。国からの就学支援金もあり、自治体により独自助成を削減・廃止するところもある。 <b>趣旨採択</b> 陳情の趣旨が理解できる。 <b>賛成</b> 全ての子どもが親の所得に関わらず等しく教育を受ける権利を保障し、教育の公平を図ることは必要。	不採択	●	●	●	●	●	●	●	-	△	△	○	△	●	●
<b>賛成</b> 自動車には取得時、保有時、走行時、それぞれに税がかけている。ユーザー負担が、税の使い道として以前は道路特定財源だったが、現在は一般財源の中に組み込まれている。消費税を8%から10%に上げるとき、抜本的見直しをしてほしい、他。	採択	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
陳情第8号を受けた意見書案のとおり。	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
陳情第13号を受けた意見書案のとおり。	可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○

- 本会議の映像を配信しています。
- 会議録も見るができます。

会議録

9月議会中の委員会は閲覧可。  
本会議は調製中です。

もっと詳しく知りたい方は、ぜひ、市議会のホームページをごらんください。  
高浜市公式ホームページのトップページの右上の「高浜市議会」をクリック。  
メニューの中から順次選んでお進みください。

- ・議会の録画中継は「議会映像配信」を、会議録は「会議録」を選択。  
以下、順にお進みください。



杉浦 辰夫 議員

防災行政について

**問** 市民に対して、避難情報や避難所、水害に対する備えに対するの取組事例は。

**答** 8月15日号広報及びホームページで、避難情報の種類と危険度、とるべき行動を掲載。

**問** 新たな水害ハザードマップの作成が必要ではないか。

**答** 作成後10年が経過しており、作成のタイミングとして、愛知県の高潮に対する新たな被害想定が作成されたら作業を進めたい。

**問** 危険な民間ブロック塀等に対する、補助制度の創設を考えているか。

**答** 現在、現地調査を進めており、補助制度の開始時期は、10月1日からを予定。既設のブロック塀の撤去に係る費用に対して補助を交付し、新たなフェンス等の設置については対象外。

補助金の上限額は10万円、補助率は1/2、補助の対象は地面から高さ1メートル以上。

教育行政について

**問** 小中学校の学習環境の改善として、エアコンを導入する考えは。

**答** 今夏の記録的な猛暑による室温調査結果をみると、学習環境の改善が必要である。エアコン設置に対する国からの交付金を活用し、平成31年度に事業に着手、平成32年夏の稼働を目指す。財政負担としては、導入教室数を230教室と仮定し、初期設置費用は、1教室あたり約300万円で約7億円。更新費用は、40年間で2回の更新を見込み、約7億円。40年間の概算費用は、約16億6,800万円と試算。

**問** 公立幼稚園の、保育室エアコン設置の今後の設置予定は。

**答** 平成31年の夏までの設置で、12月の補正予算に計上。

**問** エアコンを設置するための財源と、ねん出、確保の対策は。

**答** 歳入面では、自主財源の確保。歳出面では歳出抑制を図り、平成31年度予算編成にあたり、短期的、中長期的の両方の視点から予算査定に臨みたい。



内藤 とし子 議員

### 子どもの命と健康を守るために

**問** 猛暑で、災害並みの今年の暑さは尋常ではなかった。一刻も早くエアコンを設置すべき。また、父母から陳情が1カ月で5,800名を超す署名と共に提出され、新日本婦人の会高浜班から

も要望書が出されている。そこで、6月・7月の教室の温度は何度であったのか。

**答** 6月20日から7月20日まで午後1時に測り、7月第3週の高い教室は34.8度、低い教室が33.6度、最高温度は7月17日、高取小学校の37.2度で、30年に1度の酷暑といわれるのが、良くわかる結果でした。

エアコン設置に対する具体的な措置については、本年8月に学校施設環境改善交付金交付の前提になる平成31年度建築計画に、小・中学校エアコン設置事業を追加申請した。採択の状況を見ながら、早期に進めていきたい。

### 登下校時の子どもたちの持ち物を減らす工夫をせよ

**問** 最近、登下校時の子どもたちの持ち物が多く、膝、腰、肩こり、頭痛等の発育障害など問題があるといわれている。教科書に加え、補助用具や上靴、体操服、水筒など、小さな体にカバンを背負うだけでも大変なのに、大きくなったり厚くなったりしている教科書など、持ち物を少なくするよう求める。

**答** 持ち物を減らす工夫をしており、多くなることもあるが、学校保管できるものの検討を継続し、児童生徒の安全に配慮していきたい。

### 安全なまちづくりについて

**問** 県内には54自治体があり、その内22市町では危険なブロック塀など、塀の改修・撤去到補助等がある。当市の撤去費用、改修費用について支援制度の創設の見解は。

**答** この地域でも大規模地震の発生が危惧されており、ブロック塀撤去費用に対して上限10万円で補助金を交付します。



黒川 美克 議員

### 勤労青少年ホーム跡地活用事業について

**問** 今後、どのようなスケジュールで工事が行われていくのか。

**答** 事業者が建物の基礎工事を進めており、余分なガラを掘削しないよう、ガラなどを搬出している。流用土は、事業者がガラと良質土に分別し、経費を削減するよう調整している。

### 勤労青少年ホーム解体工事及び南テニスコート撤去工事について

**問** 掘削土量の確認についてお答えください。

**答** 検査で掘削土量の体積を確認したのではなく、設計書で鋤取りの体積650 $\text{m}^3$ を確認しており、担当課の職員が測って掘削土量の650 $\text{m}^3$ に変化率の1.1を置き換え、720 $\text{m}^3$ を現地で確認している。計算上も問題はなく、私どもも責任を持った仕事をしている。

**問** 設計書の積算基準である「公共建築数量積

算基準29年度版(国交省)」では、土砂量は地山数量とし、掘削による増加、締固めによる減少は考慮しない」とある。650 $\text{m}^3$ であれば納めできるが、地山を掘って盛土する場合は、土木の積算基準が変化率0.85であることから、1割増えるという説明は基準に合っていない。臨時会での企画部長の答弁は訂正すべきだと思うが。

**答** 現実、720 $\text{m}^3$ の土量を確認しているので、おかしいとは思っていない。

**問** 議会初日にアスファルト撤去面積が6,607 $\text{m}^2$ との説明があったが、建屋が482 $\text{m}^2$ で、ゲートボール場が約730 $\text{m}^2$ と聞いている。テニスコートの面積は省かれるので、敷地面積の合計は約7,800 $\text{m}^2$ となる。敷地面積約8,700 $\text{m}^2$ と比較すると900 $\text{m}^2$ ほどつじつまが合わない。敷地面積8,700 $\text{m}^2$ との整合性について説明を。

**答** 900 $\text{m}^2$ についてはすぐに出ません。あとで文書で提出する。

**問** 資料提出のあったマニフェスト総括表でアスファルトの処分は、631.5tとなっている。処分量は間違いはないか。どう確認したか。

**答** 法的に定められたマニフェストに基づいて、監督員が確認している。





杉浦 康憲 議員

### 教育行政について エアコン設置までに できること

**問** 熱中症を発症する恐れのある運動を伴う活動に制限を設けていますか？

**答** 暑さ指数のWBGTが31度以上の状況では、体育や長い放課、中学校の運動部の活動、小学校のプール開放や校外活動などを中止しています。

**問** 登校時に保冷材を使用したり、授業中に冷感タオルを首に巻いたりするのは？一つ提案ですが、夏の暑い時期には体操服で登下校や授業を受けたりすれば暑さ対策になるのでは？

**答** 小学校では、制帽をかぶって登校をしています。各家庭の判断で、冷感タオルや保冷剤を持参し、活用している子どももいます。

中学校で夏季休業中は、部活動に参加する場合や出校日等、登下校も体操服、そして校内活動も体操服を認めています。あと、帽子の着用も、当然のことながら推奨しています。南中学

校では、7月の一番暑い最終週に限ってでしたが、体操服で授業を受けることも可として対応してきました。

今後は、6月末から実施している教室環境調査を引き続き実施し、9月の結果も見て、子どもを取り巻く環境に応じて、今後の対応を検討したいと考えています。

**問** 子どもたちは毎日水筒を持っていきますが、暑い日には空になってしまうときもあると思います。学校の水は飲めるのですか？

**答** 小・中学校では薬剤師が水道水の水質検査を定期的実施しており、飲んで健康上何ら問題がないという検査結果が出ていますので、水分が不足したら、水道水を飲んでよいことを子どもたちに伝えています。

**問** 学校の暑さ対策で質問や要望をしましたが、今後、生徒を交え、ルールや期間などを共に考えることは、お願いできますか？

**答** 学級活動や生徒会活動で、生徒が課題を見出し、よりよい学校生活のためのルールづくりについて、教職員と共に考える姿勢は大切にしていきたいと考えています。



小野田 由紀子 議員

### 学校施設や通学路に おけるブロック塀等の 安全確保推進について

**問** 通学路の確認や安全性に問題のある通学路を今後どうするのか。

**答** 毎年、通学路の安全点検を行い、危険箇所を教育委員会に取りまとめ、都市

整備及び都市防災グループ、警察と連携を図り、通学路合同点検を実施している。

各学校でブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒などに注意し、これらのそばから離れたり、ビルの壁、屋根瓦、看板や割れた窓ガラスなどの落下に注意して、建物から離れたりするなどの防災教育を繰り返し行っていく。

**問** 通学路に面している民間のブロック塀等の撤去費用支援について。

**答** 危険なブロック塀等の撤去を推進するため、現在、補助制度の準備を進めている。

**問** 近隣市における補助制度の現状は。

**答** 刈谷市と西尾市は、既に補助制度を設置。

本年10月から本市を含む6市全てが補助上限額10万円。安城市は通学路沿いにある民間ブロック塀撤去は、補助限度額15万円。

**問** 安城市のように、独自の補助金の上乗せも検討していく必要があるのでは。

**答** 民間ブロック塀の安全対策の一手法として、検討を重ねていきたい。

### 不育症の周知や患者支援の推進について

**問** 不妊症と比べ、未だに不育症を知らない人が多く、流産、死産で心身に大きなダメージを受け、4割は強い心のストレスを抱えたまま苦しみ続けているとのことだが、相談窓口の充実や、周知啓発をどのように行っていくのか。

**答** 繰り返す流産の不安から出産に至るまで、心配だと感じている方や一人で悩んでいる方に正確な情報を提供し、不安軽減に努める。また、広報やホームページで情報発信していく。

**問** 不育症治療費助成制度の考えは。

**答** 先進自治体の実施状況や助成の成果を研究し、子どもを産み育てることに幸せを感じ、次の出産につながる、子育てに優しいまちを目指して取り組みます。



幸前 信雄 議員

### 「高浜市長期財政計画」の 確認事項と活用について

**問** 平成29年度決算後の、「高浜市長期財政計画」の見直しの内容は。

**答** 決算時には、見直しは実施していない。

**問** 各議会の補正予算での  
予定外の支出への対応策は。

**答** 予定外の支出については、事業がスタートしている現状で見直しは困難であり、対応策は翌年度以降となる。

**問** 高浜市では、事業仕分けを実施され、各事業ごとの収支・事業効果について把握できるかを  
経験されているが、既存の事業の見直しはどのように実施しているのか。

**答** アクションプランで、目標の達成度や効果・効率性などを点検・検証していくようにしている。

**問** 議員に配布されているアクションプランでは、  
事業費・工数・効果が明示されていないが。

**答** 所管部署が把握している。

### 財政指標について

**問** 決算時点での市債残高、債務負担行為額、  
財政調整基金、公共施設等整備基金の残高は。

**答** 市債残高が約73億円、債務負担行為が約115億円、財政調整基金が約17億円、公共施設等整備基金が約11億円。

**問** 債務負担行為を、どのように考えているか。

**答** 財政運営において、「後年度負担」を意味する「地方債の発行」と同様の役割・機能を有していると言われればそうかもしれないが、債務負担行為を設定するに当たり、財政の健全性を確認の上、設定している。

### 保育園の待機児童対策について

**問** 来年度の状況は。

**答** 来年度3歳未満児の受入れ定員が169人で、今年度の申し込み者数が219人。家庭的保育・弾力運用で補って、12人が不足。

**問** 対応策は。

**答** 高浜幼稚園を平成32年度にこども園化することを  
目指し、家庭的保育の増設、公立幼稚園での小規模保育を検討。



神谷 利盛 議員

### 「NEXTたかま H30年5月版」 掲載事項について

**問** EV・FCV化への対応  
について市内の製造業各社の  
考えは？また、当局はど  
んな危機感を持ったのか？

**答** 30社に訪問した。人材確保が難しい等の意見が出たが、危機感はまだ薄い。市は、「生産性向上特別措置法」に従い支援していく。

**問** コミュニティビジネス（高浜高校「Sの絆焼」）へは、いくら補助金を支出したのか？  
また、その成果は？

**答** 400万円支出した。平成29年度販売実績、5台。現在3台の有力商談がある。高校生のスキルアップ、地元企業の知名度アップ等の成果があった。

**問** 陶器瓦工業組合は、今年も「建築建材展」（3月東京開催／市負担金250万円）に出展しているが、  
評価はどうか？

**答** 映像等により、三州瓦の優位性をPRした。644件の調査によれば、三州瓦の「知名度／50%」、来場「住宅・工務店業界／15%」、瓦に対して重要視すること「耐久性や機能／70%」。市としても今後の活動指針としたい。

### 公共施設総合管理計画について

**問** 新庁舎、高浜小、中央公民館、勤労青少年ホームでは当初計画に対し、掛かった費用はいくらか？

**答** 新庁舎（計）33億2,400万円、（実）31億3,100万円（但し光熱費は契約金額から除外）。高浜小（計）52億500万円、（実）44億4,300万円（備品購入費用の一部を補助金へ切替）。中央公民館（計）2億9,600万円、（実）1億8,300万円（アスベスト除去費含）。勤労青少年ホーム（計）6,500万円、（実）5,000万円（別途発生土処分費用最大約1億3,000万円を見込む）

※問題が発生した場合には、再発防止策をしっかりと検証し、次回の計画に反映するよう強く依頼した。



柳沢 英希 議員

### 広域的な視点に基づく まちづくりについて

**問** 広域的な視点での防災への取り組みや、考え方は。

**答** 碧南、刈谷、安城、知立、高浜での徒歩帰宅支援マップは作成済みであるが、西三河では更に統一感のあるマップを検討していく。

支援物資の受援ルートや自衛隊の受入れ、仮設住宅の設置については今後の課題として、西三河防災減災連携研究会において検討していく。帰宅困難者については、近隣自治体や企業、団体とも更に情報共有し、必要な対策を進める。

**問** 広域的な視点での企業誘致、産業創出への取り組みや考え方は。

**答** 東三河地域では、企業誘致関連事業について連携を深めて協力し合うために推進連絡会が発足され、共同でパンフレットを作成し、支援制度のPR、各市長によるトップセールスも実施している。

本市でも、近隣自治体と連携して取り組み

ば、農商工の連携による新たな産業の創出や誘致、安定した産業経済圏の形成、広域的な競争力を高めることに繋がるが、各支援制度の見直しや、通勤ルート、住環境への配慮を視点とした道路網の整備も必要。企業誘致、流出防止の観点も踏まえ、広域で取り組む長所と短所を整理し、調査・研究していく。

**問** 広域的な視点での観光施策は。

**答** 衣浦定住自立圏では、圏域全体の観光情報パンフレット、るるぶ特別編集版を作成し、市内でも8,000部が観光客に利用された。

西三河9自治体ではスタンプラリー、JRとの連携企画で10月13、20日に高浜市から南知多町までのルートが企画されている。県外、海外からの集客も視野に、今後も取り組んでいく。

**問** 今後の財政も踏まえ、広域的な視点での道路整備（まちづくり）が必要では。

**答** 西三河8自治体で、自然、交通、産業、生活圏の連携強化といった理念を持って都市計画を行っている。

都市計画担当者が連携を取り、様々なニーズを確認し、将来の計画をしていく。



柴田 耕一 議員

### 組織及び事務分掌について

**問** グループ制が導入され12年が経過し、グループ制最大の機能である、職員一人ひとりが多能工化できる業務を受け持ち、複雑化・多様化する市民ニーズに対し、その成果を迅速に市民

サービスの向上に結び付けなければならないが、本市の状況を見てみると、グループ制の弊害として、人材育成がうまくいっていないと感じる。どんなにコンピューター等が発達しても、最後の判断は「人」だと考える。人材育成が行える組織体制にすべきであり、グループ制等を見直す考えはあるか。

**答** 平成17年3月構造改革推進検討委員会において、「今後、複雑化・多様化する市民ニーズに対し、安易に職員の増員や退職者の単純補充で対応することなく、職員の効率的活用、アウトソーシング戦略及び地域内分権の推進と連動させて、行政のスリム化を図る必要がある。」

との提言を受け、導入されたものである。

今後も少ない職員数であっても、部長のマネジメントによる柔軟な職員配置等により、人材を有効に活用するグループ制を活かした組織体制で、職員の効率的活用を図っていきたい。

**問** 部下育成のため、職制と職務の関係を明確化する予定は。

**答** 組織のフラット化が進み、職制と職務の関係が不明確になってきたことは認識している。

**問** グループ名及び事務分掌を見直す考えは。

**答** 来年度、組織・事務分掌等の見直しに向けた検討の中で、市民サービス向上、業務改善、事務効率化、人材育成等が行える体制づくりに努めていきたい。

**問** アウトソーシング等により、職員数を削減してきたことについて、一定の評価はする。しかし、ゆとりから良い発想や行動も生まれると考えるが、職員数を増やす予定は。

**答** 職員定員適正化計画においては、仕事量に対し必要最小限の人員を適正職員数と定めている。しかし、若干オーバーワーク部署も見受けられるため、来年度から5年間、若干名ではあるが、増員することを予定している。

## 12月定例会を 傍聴してみませんか

定例会は3・6・9・12月の、年4回開催されます。  
開会時間は、いずれも午前10時の予定です。  
一般質問等で、市政全般にわたって論議が展開されます。  
ぜひ、一度傍聴にお越しください。

### 12月定例会の日程

月 日	曜	会 議 日 程	摘 要
11月28日	水	本会議 第1日目	開会、議案上程、説明
12月 4日	火	本会議 第2日目	一般質問
12月 5日	水	本会議 第3日目	一般質問
12月 7日	金	本会議 第4日目	総括質疑、議案委員会付託
12月11日	火	総務建設委員会	付託案件審査
12月12日	水	福祉文教委員会	付託案件審査
12月13日	木	公共施設あり方検討特別委員会	付託案件審査
12月20日	木	本会議 第5日目	委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

## 議会に傍聴に行かなくても、本会議が見られます

- ①生（ライブ）で本会議の視聴ができます。
- ②録画中継は、生中継放送後、おおむね2週間後に配信を予定しています。
- ③生中継の本会議開始時刻は、いずれも午前10時開始予定です。  
本ページの、12月定例会日程を参考に、ぜひごらんください。

- インターネット回線に接続されているパソコンやスマートフォンから、生中継や録画中継をごらんになることができます。
- 議会放送関係の注意事項について、高浜市公式ホームページ「高浜市議会映像ネット配信」内に掲載していますので、必ずごらんください。

#### ■PC向けアドレス

<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/WebView/>

#### ■スマートフォン向けアドレス

<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/takahama/WebView/sp/>

#### ■スマートフォン用 QRコード



！  
ご注意ください

※視聴は無料です。ただし、通信料等は視聴者のご負担となります。  
※動画配信となりますので、視聴者の通信料等の契約内容により、高額となる場合があります。  
※視聴に際し今一度、視聴環境にかかる契約内容をよくご確認・納得のうえ、ご視聴ください。

#### 編集 後記

今年は全国各地で大きな災害が続いたり、夏は35℃以上の猛暑日が連日続いたり、自然の力に大きく左右されることが多かったのではと思います。自然と向き合って物事を進めていくことは、先が読めず非常に難しいところもありますが、常日頃より地域で支え合える関係を築いておくことこそが、安心・安全なまちづくりではとても重要ではないでしょうか。住んでいる地域に、皆さんは何が出来ますか。